

都市再生整備計画(第5回変更)

あ み よ し わ ら ち く
阿見吉原地区

い ば ら き け ん あ み ま ち
茨城県 阿見町

平成22年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	阿見町	地区名	阿見吉原地区	面積	58.6 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標 新しい居住の場・阿見東ICを中心とする新市街地の環境整備と顔づくり ①まちの中心である大規模街区(A=17ha)の周辺整備を行い、にぎわいの創出を図る。 ②沿道街区及び一般住宅地において利便性・安全性の高い快適なまちづくりを行う。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 当地区は、南側を首都圏中央連絡自動車道が東西に横断し、地区に隣接して阿見東ICが設置されることにより開発ポテンシャルが上昇し、さらなる発展の可能性を秘めている地区である。ICに隣接する場所に計画されている大規模街区(A=17ha)への商業業務施設の立地や良好な住宅地の形成を図り、当地区及び周辺地域の活性化と秩序ある発展に寄与することが期待されている。平成19年3月には、用途地域の変更及び地区計画が決定された。平成19年3月に阿見東ICが供用開始したのに併せて、アクセス道路となる幹線道路の整備が行われたが、今後地区内の区画道路整備や上下水道・ガス等の関連公共施設整備を進める必要がある。平成20年4月には、大規模街区の使用収益開始を予定しており、まちの中心としてふさわしい周辺整備が期待される。
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・商業業務施設の立地に伴い、交通量の増大が見込まれ、IC及びその周辺において交通渋滞が見込まれている。 ・地区の玄関口としてふさわしい景観に配慮した整備が必要である。 ・大規模街区以外の沿道施設街区や一般住宅地においては、利便性・安全性の高い快適なまちづくりを図る必要がある。
将来ビジョン(中長期) 「阿見町第5次総合計画」において、「阿見東ICの波及効果を生かした都市機能を発揮しながらも、自然環境に配慮した、緑あふれる良好な市街地の形成を促進します。」としている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内の人口	人	地区内の人口、定着予定人口	道路及び住環境の整備に伴い、安全な歩行者空間を整備するとともに災害に強い安心なまちをつくる。	37	H19	500	H24
歩行者・自転車数	人/12H	歩道を利用する歩行者等の増加	まちの中心である大規模街区へのアクセス性の向上や周辺施設整備等によるまちの魅力向上の度合いを確認する。	10	H19	50	H24
誘致企業数	社	当地区に新たに立地する企業数	道路や景観に配慮した整備を行うことにより、魅力あるまちをつくる。	0	H19	2	H24

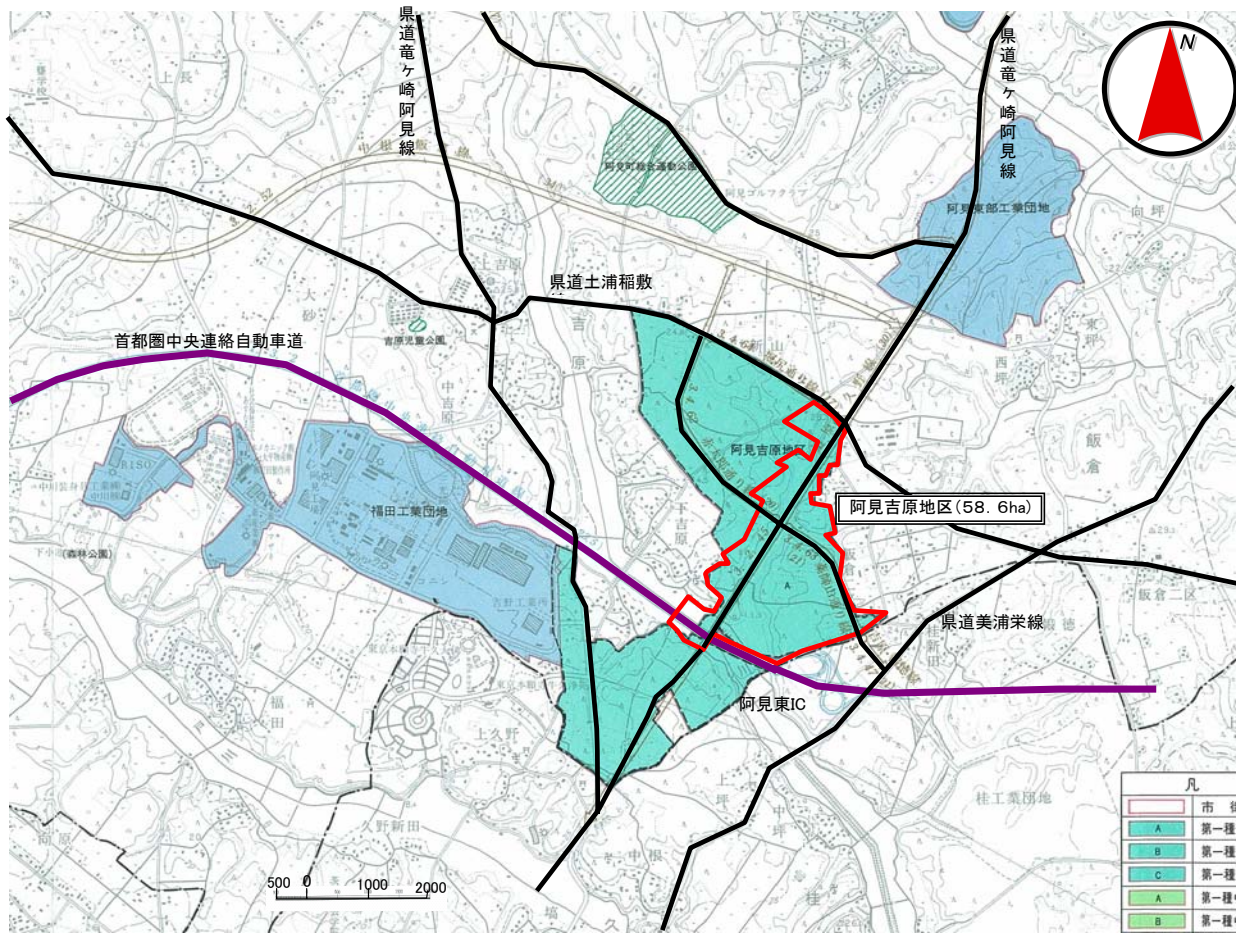
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・まちの中心である大規模街区(A=17ha)の周辺整備を行い、にぎわいの創出を図る。</p>	<p>町道第6406号他2路線道路整備(基幹事業) ポケットパーク整備(基幹事業)</p>
<p>・沿道街区及び一般住宅地において利便性・安全性の高い快適なまちづくりを行う。</p>	<p>町道整備(基幹事業) 街区公園整備(基幹事業) 緑地整備(基幹事業) 調整池兼用多目的広場整備(基幹事業) 観光施設等情報板設置(基幹事業) 調整池放流施設整備(基幹事業) 公共施設等情報板設置(提案事業) 河川改修(提案事業) コミュニケーションセンター整備(提案事業) コミュニケーションセンター試行運営社会実験(提案事業)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

阿見吉原地区(茨城県阿見町)	面積 58.6 ha	区域 茨城県 稲敷郡 阿見町 大字吉原の一部
----------------	---------------	---------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



あ み よ し わ ら ち く い ば ら き げ ん あ み ま ち
阿見吉原地区(茨城県阿見町) 整備方針概要図

目標	新しい居住の場・阿見東ICを中心とする新市街地の環境整備と顔づくり	代表的な指標	地区の人口 (人)	37 (19年度) → 500 (24年度)
			歩行者・自転車数 (人/12h)	10 (19年度) → 50 (24年度)
			誘致企業数 (社)	0 (19年度) → 2 (24年度)

